



ひなた新聞 18号



●鎌倉消防署腰越出張所の改築工事

老朽化の問題から、同じ場所での建替えと
なっています腰越出張所ですが、一時避難用
の外階段等を設けるなど、津波避難ビルとし
ての機能を整備することとしています。



具体的には、庁舎の周りにスロープで屋上まで上られるような形に
して、車椅子でも上られるようにし、津波にも耐えられる建物となり
ます。地域防災力のさらなる向上が図られる腰越出張所の完成は平成
28年度を予定しています。



●神戸橋 維持修繕工事

橋りょう点検調査において耐震性に問題があると指摘のあった神戸
橋ですが、設計業務の完了時期の遅れと240日間見込んでいた工期の
短縮が不可能なことなどから、年度内の竣工が困難であるため、12月
補正予算案で、維持修繕（補強・補修）に向けた工事費5,000万円の
繰越明許費が設定されました。議会で承認された後、工事発注は今年
度内に行い、平成28年6月～平成29年2月まで工事が実施されます。

●ごみの収集量

12月定例会観光厚生常任委員会において、平成27年度
のごみの収集量の推計値が報告されました。



	家庭系(t)	事業系(t)	合計(t)
平成26年度収集量	24,115	10,776	34,891
平成27年度収集量	19,908	10,766	30,674

平成26年度と比較して、家庭系は有料化の効果もあり大幅に削減さ
れましたが、事業系はわずか10トンのみです。事業系の燃やすごみには
紙類などの資源物やプラスチック類などが約3割混入しています。
事業者の分別のご協力と削減につながる施策が必要です。

住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<http://ameblo.jp/hinata-shingo/> フェイスブック：日向慎吾

メール：hinata.shingo@gmail.com ツイッター：@HinataShingo



討議資料

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート



1983年6月9日 生まれ (32歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

観光厚生常任委員会委員・議会広報委員会委員長。腰越在住。

●不適切な事務処理に関する調査委員会を設置

9月定例会における一般質問において、白紙の請求書を使用した不適
切な事務処理及び有効期限切れワクチンを接種した事例など、問題が
明らかになったことから、その事実関係の調査と原因の究明及び再発
防止策の策定に取り組むため、市長を委員長とする「不適切な事務処
理に関する調査委員会」が設置されました。

平成28年2月頃に中間報告、平成28年5月頃に最終報告とのこと
ですが、期限切れワクチンを接種した方への対応もきちんと行って
いただきたいと思います。検討内容についてはホームページですべて公
開されます。

鎌倉市 不適切な事務処理に関する調査委員会



クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分(腰越駅集合)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを
行います。終了後、意見交換会も行っております。
お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。

☆スケジュール☆

第33回：12月19日

第34回：1月16日

第35回：2月20日

第36回：3月19日



●平成26年度決算議案可決

我々、鎌倉夢プロジェクトの会は、議案第26号平成26年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算の認定について、外6議案に対して賛成をいたしました。意見として特に申し上げた点について、以下に掲載いたします。

・職員給与構造改革を実現

長年の懸案事項であった新給与制度について、抜本的な構造改革をされた点について評価しました。



・高齢者活動事業について

高齢者入浴助成事業に関して、健康に生活するために重要性は認識していますが、入浴場がある地域、ない地域の地域差が大きく、そのニーズに関しては行政の大原則である平等性に欠いていると言わざるを得ません。全ての高齢者、市民にとって平等な活動支援方法を求めました。



(移動手段で利用できるなど、助成内容の選択制を導入していただきたい)



・女性の活躍促進について

年齢・性別に左右されない働きやすい環境づくり、女性の就労・創業の機会を確保するための具体的な施策を求めました。



・産院ティアラ鎌倉について

開院3年で黒字化を目標にスタートしましたが、開院5年を過ぎても、いまだ黒字には至っていません。新たな産院の開院もあり、ティアラ鎌倉における出産の数は年々減少しています。今までと同じ体制・運営方法では黒字経営に転換する見通しは厳しく、大幅な事業計画の見直しをお願いしました。



・市民協働のさらなる推進

協働事業の数が年々増えている点は評価をしますが、今後さらなる協働推進に向け、条例制定なども視野にいれながら、条例の策定段階から市民参画をお願いする等、従来捉えている協働の一步先を見据えた庁内意識の向上と体制確保を求めました。



・プレミアム商品券の在り方について

市民ニーズは確実に増えてきていると認識していますが、販売方法には依然として課題も多く、全ての市民に平等な販売日時の設定など、その販売方法の再考を求めました。



(他市では、はがきやネットによる予約販売、子育て世帯・高齢者への優遇措置等、行っております。もし次回があるならば、参考にしていただきたい)

・就学児童の放課後の過ごし方について

国は放課後子ども総合プランを掲げ、放課後子ども教室と学童の一体化、また学校施設の使用などを推奨しておりますが、鎌倉市では放課後子ども教室が市内16校のうち2校で始まったばかりです。今後はプラン推進に向け関係部署間の課題の共有・理解を進め、スピード感を持った取り組みを求めました。



●議会広報委員会委員長に就任

この度、議会広報委員会委員長に就任しました。平成28年1月1日号の「議会だより」では、議会の情報を文字だけで伝えるのではなく、いかに市民の皆様に分かりやすく読みやすい紙面となるかを議論し、編集を行いました。情報伝達が進んだ社会において、「今起きたこと」を、より早く、正確に多くの情報をお届けするためにも、SNSなど新たな情報伝達手段を活用し、子どもから大人まで親しみやすい議会広報活動に努めてまいります。

